

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 家庭 科目 保育基礎

教 科： 家庭 科 目： 保育基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：（ 山田 ）

使用教科書：（ 保育基礎/実教出版 ）

教科 家庭 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 保育に関する基礎的、基本的な技術を総合的に身につけている
- 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達や保育に関わる現状から課題を見つけ、その解決を工夫し創造する能力を身につけている
- 【学びに向かう力、人間性等】 保育への関心を持ち、子どもの健やかな発達について実践的な態度を身につけている

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章 保育の意義 保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。	1 章保育の意義 1 節 保育の意義 2 節 保育の方法 3 節 保育の環境 子どもとかかわってみよう（保育実習）	・保育者の役割を理解し、その資質や能力を身につけるにはどのような点に気をつけていけばよいかなど、考察ができる。 ・発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 ・保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわったり観察することができる。	○	○	○	6
	2 章 子どもの発達 ・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。	2 章子どもの発達 1 節 子どもの発達の特性 2 節 子どものからだの発達	・胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている ・誕生から幼児期までの子どもの身体発育、運動機能、認知機能などそれぞれの発達の特性について理解している。	○	○	○	4
	2 章 子どもの発達 ・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。 ・知的発達、言葉の発達、社会性・情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる	2 章子どもの発達 3 節 子どもの心の発達 特集 月齢、年齢別の発育・発達	・子どもの心の発達の特徴と発達の経過について理解している。 ・人間関係の発達については乳児期の愛着の発達が重要であり、安全基地を土台として人間関係が広がっていくことを理解している。	○	○	○	8
	4 章 子どもの文化 絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか、その意義について理解する。	4 章子どもの文化 1 節 子どもの文化の意義と支える場 2 節 子どもの遊びと表現活動	子どもの文化の意義を理解し、それらの役割や今後の課題について考察することができる。 ・遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 ・子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけてい	○	○	○	12
2 学 期	3 章 子どもの生活 ・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける	3 章子どもの生活 1 節 子どもの生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 衣生活	・子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。 ・子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。	○	○	○	10
	3 章 子どもの生活 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。	3 章 子どもの生活 2 節 生活習慣の形成 3 節 健康管理と事故防止 子どもとかかわってみよう（保育実習）	・子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。 ・子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴、予防接種について理解している。 ・子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる。 ・保育実習の記録をまとめ、成果を発表する	○	○	○	16
3 学 期	5 章 子どもの福祉 ・子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。	5 章 子どもの福祉 1 節 子ども観 1 子ども観の変遷 2 権利の主体としての子どもへ 2 節 子どもの福祉 1 児童福祉 2 子どもをとりまく課題と対策 3 子どもが育つ社会環境	・子ども観の変遷や、権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。 ・児童福祉の基本的な考え方について理解し、子どもの幸福について自分の意見や考えをまとめることができる。	○	○	○	8
	5 章 子どもの福祉 ・子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。また、子育て支援の今後の課題と展望について考察する。	5 章 子どもの福祉 3 節 子育て支援 1 子育て支援からパートナーシップへ 2 社会的養護 3 地域の子育て支援	・児童虐待の現状と対策について自分の考えを述べている。 ・子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えている。	○	○	○	6
							合計 70